



題字は栗山流祖

発行 760-0071 高松市藤塚町2丁目 10-15 臥風流吟詠会本部 事務局

新春に思う

会長 徳田 寿風



新年明けましておめでとうございます。 会員の皆様には、ご家族お揃いで佳き新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年五月八日より、新型コロナウィルスの位置付けが、「五類」に引き下げられ、臥風流の諸行事もコロナ前と同じ要領で開催されるようになり、漸く賑わいが戻ってきました。これ偏に皆様方の温かいご協力の賜であることを思い、心から御礼と感謝を申し上げます。 昨年は、コロナ禍で会員数が減少したとは言え、確かな足どりで大きな実績を残すことができました。

定期的な事業の他に、全国吟詠コンクール決勝大会において、一昨年の中村江風さんに続き、草薙賢風さんが第三部で全国優勝されました。また、全国合吟コンクールでは、香川県総連の代表として出場した十五名(うち、臥風流十一名)が全国三位に輝きました。本年も更なる精進、努力に期待するところがございます。そして会員相互の理解を深め、一致団結して諸行事を実践して参りましょう。 今年、甲辰の年で「辰(たつ)」は日本では「龍」に通じ、「龍」は雲を起し雨を呼ぶ神霊なる想像上の生き物ではありますが、この龍年(たつどし)にあやかり、雄々しく、勇ましく堂々と生きようではありませんか。 会員皆様方へ、ご健勝ご多幸を祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

令和六年度 臥風流本部事業計画決定

昨年十二月二日高松市国分寺会館において、臥風流吟詠会本部常任理事会が開催された。

始めに、徳田会長から挨拶があり、続いて久保田事務局長から令和六年度事業計画(案)の説明があり審議が開始、次のとおり決定された。

令和六年度事業計画

- (1) 常任理事会 4月13日(土)
- (2) 段級審査打合せ 4月13日(土)
- (3) 段級審査会 5月12日(日)
- (4) 自由吟詠 5月25日(土)
- (5) 師範研修会(1) 5月25日(土)
- (6) 役員総会 6月2日(日)
- (7) 自由吟詠 7月15日(日)
- (8) 師範研修会(2) 7月15日(日)
- (9) 創流65周年記念 令和6年度第42回臥風流吟詠詩舞道大会 9月1日(日)
- (10) 段級別吟詠コンクール 10月12日(土)
- (11) 吟士権者決定吟詠大会 10月12日(土)
- (12) 全員研修会 10月26日(土)
- (13) 常任理事会 12月1日(日)

- (14) 自由吟詠 12月8日(日)
- (15) 師範研修会(3) 12月8日(日)
- (16) 吟詠発表大会(準師範以上) 令和7年3月23日(日)

【別記】

◎創流65周年記念 令和6年度第42回臥風流吟詠詩舞道大会

日時 9月1日(日) 会場 高松国分寺ホール 開催要領

- ① 合吟コンクール(5名の部男女別)
- ② 90歳以上吟詠
- ③ 令和6年度(師範合格者)
- ④ 式典 主催者挨拶・表彰 (傘寿・米寿・白寿)

臥風流吟詠会65周年のあゆみ (宮本浩風名誉会長)

- ⑤ 合吟第一部 自由合吟の部
- ⑥ 令和7年度高文祭・幼少年構成吟詠
- ⑦ 剣詩舞
- ⑧ 全国吟詠剣詩舞コンクール決勝大会出場者
- ⑨ 吟詠 大師範以上の希望者・連吟

◎全員研修会

日時 10月26日(土) 会場 高松国分寺ホール

開催要領

- ① 特別研修(徳田寿風会長)
- ② 令和6年度(段級別コンクール優勝者・吟士権者)
- ③ 令和6年度(各種県大会及び四国・中国・全国大会優秀者)
- ④ 令和6年度(合吟コンクール5名の部3位までのチーム)
- ⑤ 吟詠(全国大会優勝者)
- ⑥ 少壮吟士OB吟詠

「日本の誇」詩碑参拝

会長 徳田 寿風

桜花爛漫の令和五年四月三日に、高松市宮脇町石清尾八幡神社境内に建立の詩碑に、本部事務局長久保田章風氏・会計部長佐々木政風氏の三人で参拝し、こよなく愛されていたお酒をお供えし、臥風流の更なる発展をお誓いいたしました。

平成元年四月一日に、「栗山臥風先生顕彰碑」建立除幕式を行ってから、早三十四年が経過しました。詩碑に刻まれている宗家栗山臥風作「日本の誇」と楠誠風作「臥風流吟詠会詩」を献吟し、今年没後三

十八年となる、栗山臥風宗家への感謝と臥風流の弥栄を祈りました。栗山臥風宗家から授かった臥風流を次の世代に引継いでいくために会員皆様で後継者づくりに取り組んで頂きたいと思えます。



左より 徳田寿風会長 佐々木政風会計部長

令和五年度 段級審査結果

年一回の昇段試験となる段級審査会が、昨年五月十四日に、高松国分寺ホールと高松市国分寺会館に於いて開催され、95名が受審。

二級〜四段まで六階級で43名、五段、準師範、師範補、師範の52名が受審し、66名が合格し、六月四日の役員総会に於いて、それぞれ允許状が渡された。

各段級別合格者数は、次ページ

のとおりである。

入会後、初となる二級を受審の3名は、緊張の中にも堂々と吟じ全員合格すると共に、成績優秀者1名は一階級上位の一級が允許された。

また、二級、一級、初段、二段を受審の内で成績優秀者には、次のとおりそれぞれ特進が認められた。

【二級受審で一級允許者】 1名

目方恵子(洸風)

【一級受審で初段允許者】 1名

大塚尋江(綾南陶)

【初段受審で二段允許者】 2名

寺竹陽菜(英風)

根ヶ山ハツエ(白鳥)

【二段受審で三段允許者】 1名

大西佳代子(寿風)

【三段合格者雅号付与】

今回、三段に合格された10名と特進の1名の方々には、「臥」の付く雅号が付与されました。また、師範に合格の13名には「風」の付く雅号が付与され、指導者としての地位を確固たるものにした。

【師範合格者と雅号付与】 13名

織田敬子・敬風(桑山) 北原順子・潤風(信風) 荒井進・晨風(坂出昇風) 三井智子・智風(洸風) 森啓子・装風

(綾南) 大西章博・笙風(山本) 村越啓之・啓風(相愛) 寺竹彩結・彩風(英風) 竹内由紀子・紀風(津田) 白川智洋・洋風(三観) 北アケミ・明風(寿風) 榎林チエ子・恵風(下笠居) 高畑千代子・千風(仏生山)

総範・大師範への昇進者決まる!

臥風流吟詠会本部指導者の内、昨年度の総範ならびに大師範への昇進者が五月十四日付で発表され、六月四日の役員総会に於いて允許状が交付された。

総範には、4名、大師範には、14名が昇進し、今後更なる活躍が期待される。

総範に昇進者(4名) 敬称略

鍛冶田智育(四電) 神内照男(ちきり) 平尾明美(簡保) 堀田千賀子(満濃)

大師範に昇進者(14名) 敬称略

久保守男(四電) 植松幸子(寿風) 池田弘隆(四電) 佐々木誠子(寿風) 井上律子(玉藻) 松原綾子(寿風) 宮崎正夫(綾南陶) 高橋玉枝(満濃) 増田砂夫(綾南) 佐藤葉子(三友) 藤井チナコ(悠風) 橋崎圭子(飯山) 白神榮子(鷺山) 頼富まき子(孝風)

令和5年度 臥風流段級審査合格者数

実施日：令和5年5月14日

[過去10年間の実績]

年度	申込者	欠席者	実受審者	合格者	合格率(%)	特進者
4年度	114	8	106	85	80.2	5
3年度	132	16	116	89	76.7	6
2年度	172	0	172	172	100.0	0
元年度	179	13	166	134	80.7	10
30年度	192	10	182	146	80.2	10
29年度	216	12	204	169	82.8	12
28年度	225	16	209	177	84.7	12
27年度	265	19	246	204	82.9	14
26年度	282	18	264	218	82.6	17
25年度	301	19	282	228	80.9	16

区分	申込者	欠席者	実受審者	合格者	合格率(%)	特進者
2級	3	1	2	2	100.0	1
1級	5	0	5	5	100.0	1
初段	3	1	2	2	100.0	2
二段	8	0	8	8	100.0	1
三段	13	1	12	10	83.3	
四段	11	0	11	8	72.7	
五段	10	1	9	6	66.7	
準師範	15	2	13	9	69.2	
師範補	10	0	10	8	80.0	
師範	17	1	16	8	50.0	
合計	95	7	88	66	75.0	5

臥風流吟詠会 本部役員総会開催す

昨年六月四日、高松市内マリリンパレスさぬき2階瀬戸の間に於いて、110名の役員中、42名の委任状、63名が出席して盛大に開催された。午後一時開会宣言の後徳田寿風会長の挨拶があり、議長団に香西広風(三木町)定國伯風(英風)両氏を選出し議事が進められた。



香西 広風 定國 伯風
議長団の挨拶



徳田寿風会長
挨拶

- 第一号議案に、令和四年度事業報告が上程され、久保田事務局長より各種事業の報告が行われた。
- 第二号議案に、令和四年度会計決算報告が上程され、佐々木会計部長より収支報告が詳細に行われた。(別表四頁)
- その後、大西晃風、大路幸風監事より会計監査報告があり、その内容は全て適正である。と報告された。
- 第三号議案は、令和五年度事業計画案が事務局より提案された。
- (1) 常任理事会 4月8日(土)
 - (2) 段級審査打合せ 4月8日(土)
 - (3) 段級審査会 5月14日(日)
 - (4) 師範研修会(1) 5月28日(日)
 - (5) 役員総会 6月4日(日)
 - (6) 師範研修会(2) 7月17日(月)
 - (7) 第41回臥風流吟詠詩舞道大会 9月2日(土)
 - (8) 吟士権者決定吟詠大会 10月7日(土)
 - (9) 段級別吟詠コンクール 10月7日(土)
 - (10) 全員研修会 10月22日(土)
 - (11) 師範研修会(3) 11月25日(土)
 - (12) 常任理事会 12月2日(土)
- ⑬ 吟詠発表大会【準師範以上】 令和6年3月24日(日)
- ◎ 本部関連事業
- ① 漢詩同好会活動 月一回程度
 - ② 郊外研修会 各ブロック別に実施
- 引き続き、第四号議案の予算案(別表四頁)が会計部長から提案され承認された。
- 第五号議案その他では
- (1) 脱会
 - No.59 洋風吟詠会 4・6・1付(政岡陽子)
 - No.62 妙香吟詠会 5・2・20付(三木節子)
 - No.51 青瓦吟詠会 5・3・31付(佐藤利男)
 - (2) 会員の推移
四年度は432名、40名の減少。
 - (3) 臥風流ホームページ
アクセスログ日別(平成30年10月22日〜令和5年3月31日)
訪問者 4,654
訪問数 5,683
ページビュー数 18,039
問合せ数 1
- 最後に徳田寿風臥風流会会長より閉会の挨拶があり役員総会が終了した。

令和4年度会計報告書

自 令和4年4月1日～至 令和5年3月31日

単位:円

収入の部			支出の部		
令和4年度各大会会場費他費用 仮払戻入		512,621	令和4年度段級審査会受審料 仮受払出		369,000
本部会費(一般) 432名		1,296,000	段級審査会費		134,736
準師範以上会費(特別) 339名		1,695,000	全員研修会費		204,966
教本収益金		971,000	役員総会費		125,290
允許料		671,400	吟剣詩舞道大会費		314,809
預金利子		139	段級別コンクール費		85,607
香川県総連より用品使用料等		45,000	吟士権者決定大会費		1,058
令和5年度段級審査会 受審料仮受		299,000	新春吟剣詩舞道大会費		0
			吟詠発表大会費		-175,510
			準師範以上研修会費		463,997
			同好会活動費		50,710
			常任理事会・執行部会費		23,993
			役員名簿印刷費		202,400
			臥風流だより発行費		312,400
			広報費		162,374
			幼少年活動費		65,293
			令和5年度版教本・和歌教本 発行費		588,200
			各種通知文等印刷費		98,960
			慶弔費		143,000
			コロナ対策費		156,021
			本部運営費		1,203,026
			・事務所 家賃		(427,260)
			・事務所 コピー機維持費		(202,735)
			・事務所 雑費		(158,994)
			・事務局活動費(会長・事務局長・会計部長)		(280,000)
			・通信・郵送料		(134,037)
			令和5年度 各大会会場費他 費用仮払		442,334
小 計		5,490,160	小 計		4,972,664
前年度繰越金		6,247,688	次年度繰越金		6,765,184
合 計		11,737,848	合 計		11,737,848

令和5年度会計予算書

自 令和5年4月1日～至 令和6年3月31日

単位:千円

収入の部			支出の部		
令和5年度大会会場費他 仮払戻入		442	令和5年度段級審査会受審料 仮受払出		299
本部会費(一般) 390名		1,170	段級審査会費		190
準師範以上会費(特別) 300名		1,500	全員研修会費		150
令和6年度版教本・和歌教本 収益金		500	役員総会費		150
允許料		600	吟剣詩舞道大会費		200
預金利子		1	段級別コンクール費		160
香川県総連より用品使用料等		50	吟士権者決定大会費		0
令和6年度段級審査会 受審料仮受		300	吟詠発表大会費		0
			準師範以上研修会費		450
			同好会活動費		50
			常任理事会・執行部会費		40
			役員名簿印刷費		200
			臥風流だより発行費		350
			広報費		200
			幼少年活動費		80
			令和6年度版教本・和歌教本 発行費		170
			各種通知文等印刷費		200
			慶弔費		180
			コロナ対策費		200
			本部運営費		1,328
			・事務所 家賃		(428)
			・事務所 コピー機維持費		(190)
			・事務所 雑費		(200)
			・事務局活動費(会長・事務局長・会計部長)		(280)
			・通信・郵送料		(230)
			令和6年度 各大会会場費他 費用仮払		460
小 計		4,563	小 計		5,057
前年度繰越金		6,765	次年度繰越金		6,271
合 計		11,328	合 計		11,328

令和五年度 臥風流全員研修会

昨年十月二十二日(日)高松国分寺ホールに於いて、臥風流全員研修会が四年ぶりに二百三十名の会員が参加し開催されました。

大森英風大会委員長の開会の言葉に続き、国歌斉唱、臥風流吟詠会詩吟詠がありました。



大森英風大会委員長
開会挨拶

続いて徳田寿風会長による特別研修があり「詩吟の音階と音の性格と感情」についてのお話がありました。詩吟の音階を構成している音はミ・ファ・ラ・シ・ドでありこの各音階の音の性格感情について丁寧の説明、又、大やまは感情を変化させて発声する事が重要で、シで明るく楽しく、ド・シ・ラーでなんでもなくなり、ファー

で悲しく、ミで納まる。特にラからファーに下がる音が一番重要であると説明がありました。

続いて「令和六年度臥風流指定吟題集について」教本の訂正についてお詫びの説明と、今回よりアクセント集が追加された事、全国大会指定吟題十題に付いて今までと出だしの音の変更点の説明がありました。

研修の内容では「詩吟の音階と音の性格と感情について」は、少し難しかった様に思いますが、大変勉強になった内容でありました。引き続き、徳田寿風大会会長の挨拶と、さる九月十日(月)東京日本教育会館・一ツ橋ホールにおいて、令和五年度全国吟詠コンクール決勝大会一般三部で草薙賢三さんが、優勝された報告と令和になり、四回の全国大会の内三回が臥風流から出ており大変誇らしく思いますとのお話がありました。

そして令和五年度全国吟詠コンクール決勝大会優勝者、草薙賢三さんに、宮本大会名誉会長より、褒賞金が授与されました。その後、草薙賢三さんより御礼のご挨拶が

ありました。



草薙賢三さん
宮本名誉会長より褒賞金の授与

ここで午前の部は終了し昼食休憩に入り、昼食は二段重のお弁当でありました。

午後の部になり、令和二年〜五年度の段級審査会・師範合格者二十四名の吟から始まりました。

【令和二年度】 師範合格者



十鳥 光風
(満濃)



今瀧 幸風
(満濃)



小河 聖風
(悠風)



下川 雄風
(山本)



高橋 浩風
(山本)



飯村 明風
(英風)



川田 道風
(寿風)

【令和三年度】 師範合格者



直井 郁風
(洸風)

【令和四年度】
師範合格者



安田 美風
(鷺山)



國井 陽風
(鶴尾)



大森 正風
(三観)



片木 幸風
(山本)



竹本 藤風
(簡保)



鈴木 瑛風
(鶴風)

【令和五年度】
師範合格者



森 装風
(綾南)



三井 智風
(洸風)



荒井 晨風
(昇風)



北原 潤風
(信風)



三好 杏風
(簡保)



植田 善風
(鷺山)



榎林 恵風
(下笠居)



白川 洋風
(三観)



竹内 紀風
(津田)



大西 笙風
(山本)



草薙賢風さん



中村江風さん



山地信風さん

続いて令和四・五年度の段級別吟詠コンクール七名、吟士権者決定大会優勝者四名、同年度各種県大会、四国、中国、全国大会入賞(吟詠)五名、同(剣舞)三名、同年度合吟コンクール上位入賞チーム六チーム、そして全国吟詠コンクール決勝大会優勝者、令和元年度、山地信風さん、平成二十八年

続いて大森大会委員長による構成吟詠・春夏秋冬(私の好きな詩四題)最後に徳田寿風大会会長による構成吟詠「西郷隆盛と西南戦争」六題のご披露があり、両先生の吟詠に魅了されました。最後に、横山公風大会副委員長の閉会の言葉で全員研修会を終え

度、令和四年度と二冠達成の中村江風さん、令和五年度、草薙賢風さん三名の素晴らしい吟詠で発表が終了しました。

ました。来年の全員研修会を楽しみに、又一年間励みましようとお言葉もあり、今までにも増して中身の濃い全員研修会でした。



横山公風大会副委員長
開会挨拶

吟詠発表大会

(準師範以上)

昨年三月二十六日、高松国分寺ホールに於いて、臥風流吟詠発表大会が行われ、準師範～総範までの会員が参加して、平素の吟詠研鑽の成果を発表し合いました。

まず始めに、横山公風大会委員長が、この大会は師範研修会の成果発表であり二月二十六日の研修「日本語音節と日本音楽リズム」は大事なものです。しっかりと、身に付けましようとの挨拶がありました。

百六十一名中、三十一名が体調不良等の欠席で、実質百三十名の発表でした。最後、大森英風大会副会長の「又、来年も元気でこの会に参加しよう」の挨拶で閉会しました。

師範研修会前の

自由吟詠

今まで、高松国分寺ホールは全日ホールを借用しているため、午前九時～十二時を有効活用すべく、会員の吟詠向上に寄与すべく練習・発表の場を設けたいとの主旨により計画され、今回初めての試みで開催されました。

第一回師範講習会前の自由吟詠では、徳田寿風会長より今回この様な新しい思考を改革された御礼と、吟じる時の心構えが必要であるとのご挨拶があり、五十二名の個人吟詠がありました。

二回目の自由吟詠では、久保田事務局長の挨拶があり、七十二名の参加がありました。十一月二十五日、三回目は七十名でした。出吟者全員一生懸命に吟じられ

大変良い練習が出来たものと思われます。ステージ上での練習ですので、勉強の為、出来るだけ多くの人に参加をお願いします。

師範研修会開催(一)

コロナ感染症が昨年五月八日より二類から五類に引き下げられました。完全終息には至ってなく、引き続き感染対策を、十分にしながら、令和五年度、第一回師範研修会が五月二十八日、高松国分寺ホールに於いて、会員百十五名(内一般参加者五名)の参加で開催されました。



横山公風研修部長
開会挨拶

最初に横山公風研修部長の挨拶が始まり、恒例の年一回の徳田寿風会長、大森英風先生の個別にアドバイスが受けられる十名の吟詠

が発表されました。両先生五名づつの講評がされ皆様ベテランの方ばかりで辛口ではありましたが、より良い吟になる様なご指導がありました。



徳田寿風会長
大森英風先生
吟詠アドバイス

最後の吟詠実習は、来年度の律詩「獄中感あり」を大森英風先生「容奇」を徳田寿風会長両先生方の素晴らしい美声による吟詠披露があり、両詩の指導、説明がありました。

師範研修会開催(二)

第二回師範研修会が昨年七月十日高松国分寺ホールに於いて、

会員百四十六名の参加で開催されました。

最初に横山公風先生の挨拶があり、引き続き、横山公風先生より「梅花」の指導では、文節毎に詠う、リフレイン(繰り返し詠う)の場合は音を上げずにポイントを上げる方法の指導がありました。



横山公風先生
挨拶

次に大森英風先生は「磯原客舎」と「金陵の鳳凰台に登る」の二題で「磯原客舎」で、詩を読む時は上に響かせて流れよく、又、鼻濁音に注意する。「ねっし」促音は前に声を飛ばす。「っ」の発音は高く発音「わが・ぐん」は言葉を縮めて詠う。「金陵の鳳凰台に登る」では、鳳凰(ほうおう)ホオオオオと発音すること。今回も具体的な判りやすい指導で大変勉強になりました。

引き続き九名の方の吟詠発表が

あり、大森英風先生の講評では、言葉が間延びする↓漢字を良く見て縮めて詠う。ユリの降りは「ミ」まで降りて止める。常に次の音階が繋がってくるので、基本の音階の上下が大切であるとの話であった。

師範研修会開催(三)

昨年十一月二十五日、第三回目の師範研修会が高松国分寺ホールに於いて、受講者百三十三名を迎えて開催されました。

最初に、研修部長の横山公風先生の挨拶の中で、教本を見てどういう流れで力を入れるところ、変化を出すところ等、声を作ることに非常に大切であること。まず指導者が理解し自分自身が身に付けることの話がありました。



横山公風研修部長
挨拶

引き続き、徳田寿風会長より、教本の変更点と吟じ方の注意点の指導がありました。吟界では今風吟で、吟風が流行っている吟が、全国に通用する、リズム・節調に旋律変更している。

① アクセントの表示の意味を正しく、まず指導者が理解し生徒に指導をして頂きたい。

② 出だしの改訂についてはミファファ↓レファファ、ミラファ↓ファラファ、ファミミ↓ラファファ 以上の通り変更してきます。吟界では通例となってきました。



徳田寿風会長の
ご指導

和歌の指導としては序詠では、「やさしく」「柔らかく」本詠では「強く」「激しく」表現することが大切である。又、最高音の表現としては、音階まで上げなくても自分自身が出せる高音で最も綺麗な声の表現が良い。

最後に横山公風先生より吟詠発表者のアドバイスがありました。

今回も横山公風先生、徳田寿風会長の細かく具体的なご指導を受け大変勉強になりました。

第五十回 臥風流 段級別コンクール大会

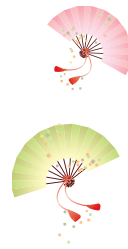
昨年十月七日、高松市国分寺会館に於いて、無級から五段までの会員三十七名が参加して開催された。

各段級別・年齢区分別人賞者は次の通り十七名である。

尚、無級の部で優勝した鈴木勝敏、準優勝の酒井文代、両名には2級が允許された。

【幼・少年の部】

- 優勝 寺竹 陽菜(英風)
- 準優勝 橋本 琴音(孝風)
- 第三位 井下 尊凱(孝風)
- 佳吟賞 井下 智輝(孝風)



優勝 目方 恵子(洸風)



優勝 鈴木 勝敏
準優勝 酒井 文代

【無級の部】
優勝 鈴木 勝敏(寿風)
準優勝 酒井 文代(寿風)



佳吟賞 井下 智燿
第三位 井下 尊凱
準優勝 橋本 琴音
優勝 寺竹 陽菜



優勝 上原 孝子

【第三部】(三段〜五段69歳以下)
優勝 上原 孝子(仏生山)



準優勝 鈴木 孫衛
優勝 市原 英俊
第三位 大塚 尋江

【第二部】(二級〜二段70歳以上)
優勝 市原 英俊(寿風)
準優勝 鈴木 孫衛(孝風)
第三位 大塚 尋江(綾南陶)



優勝 目方 恵子

令和四年四月私は、かがわ長寿大学へ入学しました。そしてその

鈴木 勝敏(寿風)

段級別吟詠コンクール無級の部
優勝者のよろこび



鈴木勝敏さん



準優勝 山野 緑
優勝 五嶋 辰男
第三位 松下 利和

【第四部】(三段〜五段70歳以上)
優勝 五嶋 辰男(下笠居)
準優勝 山野 緑(あゆみ)
第三位 松下 利和(長尾)
佳吟賞 定國美知子(英風)、山口 奉子(白鳥)、尾崎修(寿風)
出吟順

秋、かがわ長寿大学で詩吟同好会を立ち上げるといふ事を知り入会する事にしました。
入会の目的は、大きな声を出していれば元気が出るのではないかと、と言う単純な発想からです。勿論詩吟の事は全く何も知りませんでした。入会してからは、花園コミュニティセンターで月二回、徳田寿風先生のご指導を受けております。そしてこの度、段級別コンクールに出場し無級の部で優勝する事ができました。嬉しいと言うより大変驚いております。
入会して一年、詩吟の事は未だ何も分かっておりませんが、徳田寿風先生のもと、精進していきたく思っております。又、この一年色々アドバイスをして下さいました先輩方にも感謝致しております。

第二十二回 臥風流吟士権者 決定吟詠大会

昨年十月七日高松国分寺ホールに於いて、準師範以上の会員が八十名参加して開催されました。第一部九名、第二部四十六名、第三部二十五名で競い合いました。成績は次のとおり

【第一部】(69歳以下)

- 優勝 浦 麻紀(寿風)
- 準優勝 木太 和代(仏生山)
- 第三位 山本 郁代(玉藻)



第三位 山本 郁代 優勝 浦 麻紀 準優勝 木太 和代

- 【第二部】(70〜79歳)
- 優勝 廣瀬 恵子(英風)

- 準優勝 萱原 美千子(綾南陶)
- 第三位 定國 浩(英風)
- 入賞 三好美也子(簡保)、植松幸子(寿風)、浜崎清美(英風)、森恵子(綾南)、古賀良隆(英風)、片岡秀子(寿風)、長谷川美喜子(山本)、北原順子(信風)、織田敬子(桑山)、坂東恵美子(英風)、田村祐二(仏生山)、今瀧幸子(満濃)



第三位 定國 浩 優勝 廣瀬 恵子 準優勝 萱原 美千子

【第三部】(80歳以上)

- 優勝 藤川 美代子(悠風)
- 準優勝 藤井 チナコ(悠風)
- 第三位 小竹 勲(玉藻)
- 入賞 庵原修(孝風)、久保守男(四電)、飯田昌孝(春日)、鎌田

出吟順

出吟順

保(信風)、堀合正健(鶴尾)



第三位 小竹 勲 優勝 藤川 美代子 準優勝 藤井 チナコ

第四十二回 臥風流 吟剣詩舞道大会

昨年九月二日、臥風流吟剣詩舞道大会が高松国分寺ホールに於いて、開催されました。

最初に、開会のことばを大森英風大会委員長がされ、国歌斉唱と臥風流吟詠会詩が流された後、徳田寿風先生より審査上の注意事項の説明がなされ、十四チームによる合吟コンクールが始まりました。



優勝 寿風吟詠会(女子A)

〔合吟コンクール〕

- 優勝 寿風吟詠会(女子A)
- 準優勝 寿風吟詠会(男子A)
- 第三位 英風吟詠会(女子B)
- 入賞 山本吟詠会(男子)、寿風吟詠会(女子C)、英風吟詠会(女子A)、満濃吟詠会



大森英風大会委員長 開会挨拶

次に九十歳以上の部の吟詠となり、伊丹敏風(ちぎり)、小野臥輝(寿風)、大饗臥芳(高松)、富川扇



第三位
英風吟詠会 (女子B)



準優勝
寿風吟詠会 (男子B)



松下 真風
(高松)



小仙 聰風
(鷺山)



田中 仁風
(満濃)



富川 扇風
(綾南陶)



大饗 臥芳
(高松)



小野 臥輝
(寿風)



伊丹 敏風
(ちぎり)

〔傘寿の部〕(18名)
木村紅風(高松玉藻)、池田武風(仏生山)、佐藤星風(大内丹生)、鶴岡朗風(坂出深風)、川畑雪風(綾南)、矢嶋静風(英風)、村志風(寿風)、岩田雅風(桑山)、水鳥咲風(鶴尾)、森康風(鷺山)、高木捷風(春日)、宮本清風(綾南陶)、岡晴風(相愛)、川北圭風(仏生山)、大野勝風(寿風)、植田善風(鷺山)、竹内紀風(津田)、北明風(寿風)



徳田寿風会長
挨拶

風(綾南陶)、田中仁風(満濃)、小仙聰風(鷺山)、松下真風(高松)の方々の吟詠発表がありました。とてもご高齢の吟とは思えないほど素晴らしい声に感激しました。次に、新準師範・師範補・師範になられ方々の連吟がありました。徳田寿風先生の会長挨拶の後、長寿表彰が行われました。



米寿代表
三好 昌風

〔米寿の部〕(6名)
三好昌風(ちぎり)、山本馨風(鷺山)、森田貞風(志度)、藤本朝風(相愛)、山田江風(鷺山)、大饗臥芳(高吟)



傘寿代表
池田 武風



幼少年部構成吟詠出演者

昼食休憩の後、合吟(自由の部)十八チームが出吟しました。次に大森英風先生構成・指導の下に幼少年部による構成吟詠「下リーム」「讃岐の風景」が剣舞を交えて熱演されました。



全国吟剣詩舞コンクール決勝大会出場者

次に剣詩舞・吟詠が十一番ありました。次に全国吟剣詩舞コンクール決勝大会出場者の発表がありました。剣舞幼年の部 橋本琴音 吟詠一般二部 東原妃風 吟詠一般三部 前原洋風、佐々木政風、池田弘風、安藤鶴風、草薙賢風七名の剣舞・吟詠発表がありました。

プログラム最後は総範・大師範の素晴らしい連吟二十番で締めくくりました。



藤井 悠風 (悠風)



蓮井 鶴風 (三友)



植松 幸風 (寿風)



松原 綾風 (寿風)



佐々木 誠風 (寿風)



堀田 賀風 (満濃)

大藪 梢風 (満濃)



児島 節風 (木太中央)

鍛冶田 洸風 (四電)



古川 静風 (綾南陶)

米澤 都風 (石清尾)



吉中 緑風 (寿風)



池田 武風
(仏生山)



宮武 明風
(本山)



野田 湘風
(本山)



田中 光風
(英風)



坂東 恵風
(英風)



土岐 晴風
(鷺山)



白神 榮風
(鷺山)



堀井 勲風
(津田)



須田 鋒風
(四電)



山地 修風
(三溪)



三好 昌風
(ちぎり)



細谷 千風
(綾南陶)



南原 孝風
(孝風)



宮本 浩風
(四電)



徳田 寿風
(寿風)



大森 英風
(英風)



前原 洋風
(簡保)



久保田 章風
(満濃)



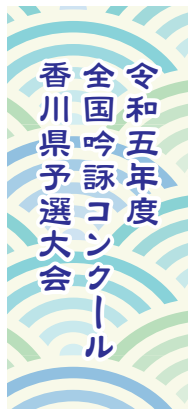
川田 美風
(仏生山)



優勝
寺竹 陽菜

優勝 寺竹 陽菜(英風)

〔幼年の部〕
昨年四月二十九日高松市国分寺
ホールに於いて、香川県下の各流
派から、集まり盛大に開催された。



松下功風大会副委員長
閉会挨拶

最後、松下功風大会副委員長の
閉会挨拶で終了しました。

〔少年の部〕
 優勝 橋本 真希(孝風)
 準優勝 東條 真衣(英風)



優勝 橋本 真希
 準優勝 東條 真衣

〔青年の部〕
 優勝 河野 ひかり(英風)



優勝 河野 ひかり

〔一般一部〕
 準優勝 浦 麻紀(寿風)



準優勝 浦 麻紀

〔一般二部〕

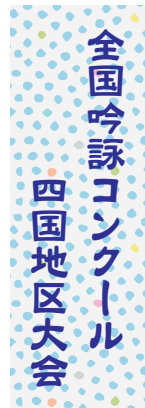
優勝 東原 恵(寿風)
 準優勝 松川 吉伸(四電)
 入賞 木太和代(仏生山)、小泉 眞砂子(綾南)
 出吟順



準優勝 松川 吉伸
 優勝 東原 恵

〔一般三部〕

準優勝 草薨 賢三(寿風)
 第三位 堀井 勲(津田)
 入賞 安藤智津子(鶴風)、佐々木政彦(牟礼)、前原洋子(簡保)、児島節(木太中)、小竹勲(玉藻)、鍛冶田智育(四電)、藤川美代子(悠風)、池田弘隆(四電)、鈴木幹男(寿風)、小田孝子(寿風)、田中加代子(英風)、須田邦夫(四電)、廣瀬恵子(英風)
 出吟順



昨年七月九日愛媛県松前総合文化センターに於いて開催された。
 (○印が全国吟詠コンクール出場)



準優勝 草薨 賢三
 第三位 堀井 勲

〔幼年の部〕

準優勝 寺竹 陽菜(英風)

〔少年の部〕
 準優勝 橋本 真希(孝風)
 第三位 東條 真衣(英風)

〔青年の部〕
 第三位 河野 ひかり(英風)

〔一般一部〕
 入賞 浦 麻紀(寿風)

〔一般二部〕
 第三位○東原 恵(寿風)

入賞 松川吉伸(四電)、木太和

代(仏生山)、小泉眞砂子(綾南)
 出吟順

〔一般三部〕
 優勝○草薨 賢三(寿風)
 準優勝○安藤 智津子(鶴風)
 入賞○池田弘隆(四電)、○佐々木政彦(牟礼)、○前原洋子(簡保)
 佳吟賞 鍛冶田智育(四電)、児島節(木太中)、廣瀬恵子(英風)、小田孝子(寿風)、鈴木幹男(寿風)、小竹勲(玉藻)
 出吟順



徳田会長と全国吟詠コンクール四国地区大会入賞者

昨年九月十八日、東京日本教育会館・一ツ橋ホールに於いて開催され臥風流からは次の六名が挑戦しました。

一般二部 東原 惠

草薙賢三さん優勝!
令和五年度全国吟詠コンクール
決勝大会(一般三部)



徳田会長と全国吟詠コンクール四国地区大会入賞者

昨年九月十八日、日本教育会館・一ツ橋ホールで開催された「令和五年度全国吟詠コンクール決勝大会」に四国地区代表として出場しました。コロナ禍の令和二年度は中止でしたが、令和三年度から三年連続の出場でした。大会十日位前に軽い鼻炎になり、ほぼ回復はしていたものの、やや鼻声だったこともあり、私としては出来栄今一つの感否めず、成績はあまり期待していませんでした。ただ今回の吟題「絶命の詞」は練習や大会

等での発表の経過と共に、詩心や詩情表現等が「臥風流の節調」にフィットして、段々と吟じることが気持ち良く感じられるようになっていったように思っています。そして出順ですが、令和三年度は一番最後、令和四年度は一番最初と極端な出順でしたが、今回「一般三部」は四十九人中十六番目ということ

で、出場モードも良い方にもっていったのではないのでしょうか。

ともあれ「優勝」の栄冠を手にする事が出来、本当に「まさか、まさか」の感激で一杯です。ご指導頂いた徳田先生はじめ大勢の皆様方の応援の賜物と厚く御礼申し上げます。今後は日本一の称号に恥じないように研鑽に努めると共に、微力ながら後進の指導並びに吟詠界の発展に寄与してまいる所存です。

令和五年度
全国吟詠コンクール決勝大会
まさかの優勝!!
 寿風吟詠会 草薙 賢三

優勝 草薙 賢三(寿風)
 草薙賢三さん全国優勝おめでとうございます。

- 一般三部 草薙 賢三
 安藤 智津子
 池田 弘隆
 佐々木 政彦
 前原 洋子



10月13日
 高松市長表敬訪問

ともあれ「優勝」の栄冠を手にする事が出来、本当に「まさか、まさか」の感激で一杯です。ご指導頂いた徳田先生はじめ大勢の皆様方の応援の賜物と厚く御礼申し上げます。今後は日本一の称号に恥じないよう

に、微力ながら後進の指導並びに吟詠界の発展に寄与してまいる所存です。

で、出場モードも良い方にもっていったのではないのでしょうか。



優勝
 橋本 琴音

優勝 橋本 琴音(孝風)
 準優勝 井上 蒼真(英風)

昨年五月二十一日高松国分寺ホールに於いて、香川県予選大会が開催された。臥風流会員も多数出演し、特に幼年・少年の部の活躍が目立った。

令和五年度
全国剣詩舞コンクール
香川県予選大会



後列 徳田寿風会長、鍛冶田汎風相談役
 前列 大西秀人高松市長、草薙賢三さん

優勝 青木 純子(孝風)



第三位 井上 馳隆



準優勝 橋本 真希



優勝 橋本 百恵

優勝 橋本 百恵(孝風)
準優勝 橋本 真希(孝風)
第三位 井上 馳隆(英風)
佳演賞 池川 巧(孝風)



準優勝 井上 蒼真

【剣舞・少年の部】

【詩舞・一般三部】
佳演賞 米澤都子(石清尾)、須田 弘子(草風) 出演順



準優勝 倉本 豊
優勝 山地 花枝
第三位 井上 良一

【剣舞・一般三部】
優勝 山地 花枝(三溪)
準優勝 倉本 豊(志度)
第三位 井上 良一(綾南)
佳演賞 泉真由美(国分寺)、定國 美知子(英風) 出演順



優勝 青木 純子



徳田会長と
全国剣詩舞コンクール四国地区大会幼少年入賞者

【剣舞・幼年の部】
橋本 琴音(孝風)

令和五年度
全国剣詩舞コンクール
決勝大会

昨年九月二十四日、大阪門真市民文化センターに於いて開催され、橋本琴音さんが挑戦しましたが惜しくも入賞できませんでした。



徳田会長と
全国剣詩舞コンクール四国地区大会一般入賞者

令和五年度
全国剣詩舞コンクール
四国地区大会

昨年七月二日、善通寺市民会館に於いて、四国地区大会が開催された。

【剣舞・幼年の部】

優勝 橋本 琴音(孝風)

【剣舞・少年の部】

準優勝 橋本 百恵(孝風)

第三位 橋本 真希(孝風)

【剣舞・一般三部】

第三位 山地 花枝(三溪)

令和五年度香川県 吟詠剣詩舞選手権大会

昨年七月二十二日、三豊市市民交流センターに於いて、東・中・西讃連盟での予選を勝ちぬかれた百三十一名が参加して県吟詠剣詩舞選手権大会が行われ、各部門の入賞者が決定した。

なお、入賞者(〇印の六名)は、十月二十二日高知県・佐川町立桜座で開催する四国選手権大会に出場する。

【吟詠二部】(80歳以上)



第三位 古川 しず子
優勝 鈴木 幹男
準優勝 柏野 和美

【吟詠一部】(79歳以下)
優勝〇池田 弘隆(四電)
準優勝〇松川 吉伸(四電)
第三位〇佐々木 政彦(牟礼)
入賞〇浦 麻紀(寿風)
佳吟賞 小田孝子(寿風)、黒島ひとみ(三観)、久保仁(玉藻)、小



準優勝 定國 美和子
優勝 井上 良一

優勝 鈴木 幹男(寿風)
準優勝 柏野 和美(綾南陶)
第三位 古川しず子(綾南陶)
佳吟賞 堀合正健(鶴尾)、堀井勲(津田)、藤川美代子(悠風)、米澤都子(石清尾) 出吟順
【剣舞の部】
優勝〇井上 良一(綾南)
準優勝〇定國 美知子(英風)



第三位 佐々木 政彦
優勝 池田 弘隆
準優勝 松川 吉伸

泉眞砂子(綾南)、清川芳助(寿風)、立川正史(寿風)、木太和(仏生山)、廣瀬恵子(英風)、橋本真希(孝風)、鍛冶田智育(四電)、細川節子(志度)、植松幸子(寿風)、定國浩(英風)、玉木一浩(長尾) 出吟順

第60回 四国吟詠剣詩舞 選手権大会

昨年十月二十二日、高知県佐川町立桜座に於いて、四国吟詠剣詩舞

選手権大会が行われた。臥風流会員の成績は次のとおり

【吟詠の部】

優勝 池田 弘風(四電)
第三位 松川 天風(四電)
入賞 佐々木政風(牟礼)



優勝 池田 弘風
第三位 松川 天風

かがわ文化芸術祭二〇二三 高松文芸協会玉藻まつり 吟剣詩舞道大会

昨年十一月十二日、高松市立図書館コンサートホールに於いて、書館祭りが開催されました。臥風流会員の成績は次のとおりでした。

【第二部】(70歳以上)

優勝 (高松市長賞)

佐々木 政彦(牟礼)

準優勝 (高松市議会議長賞)

藤川 美代子(悠風)

第三位 (高松市教育長賞)

宮本 修(寿風)

入賞 小竹勲(玉藻)、藤井チナ

コ(悠風)、浜崎清美(英風)、鍛冶

田智育(四電)、定國浩(英風)、鎌

田保(信風)、古賀良隆(英風)、小

河聖(悠風)、國井陽子(鶴尾)、森

博子(英風)、川田道子(寿風)、定

國美知子(英風)、五嶋辰男(下

笠居) 出吟順



第三位 宮本 修 優勝 佐々木 政彦 準優勝 藤川 美代子

【第一部】(69歳以下)

優勝 (香川県知事賞)

木太 和代(仏生山)

第三位 (香川県議会議長賞)

山本 郁代(玉藻)

入賞 直井郁子(洗風)、喜岡真

智子(鶴尾) 出吟順



第三位 山本 郁代 優勝 木太 和代

県総連主催 秋季大会 合吟コンクール 「寿風吟詠会男子チーム」 優勝!!

昨年十月十五日、善通寺市民会館で開催された「令和五年度香川県吟詠詩舞道秋季大会」の「合吟

コンクール・十五組出場」で「臥風流寿風吟詠会(A) ※男子チーム」が見事優勝しました。また準優勝、第三位も「臥風流寿風吟詠会(B)(C) ※いずれも女子チーム」が入賞し、トップ3を独占の形となりました。



優勝 寿風吟詠会男子Aチーム

日本コロムビア 全国吟詠コンクール 香川地区予選大会

昨年九月十日、高松市のホテルマリンパレスさぬきに於いて、第五十九回香川地区予選大会が開催された。毎年参加者の減少する中、八十八名の方の参加を頂き審査員に中野撰煌先生(姫路)・野池路風先生(神奈川)・内野仁新風先生(大坂)をお迎えし、又、運営委員として久保田章風先生始め、臥風流の方々のご協力のもと開催することが出来ました。入賞者は次の通りです。

(○印は全国決戦大会出場者)

【第二部】(一般の部16歳〜50歳)

優勝 橋本 真希(孝風)

【第三部】(一般の部51歳〜75歳)

優勝 ○松川 吉伸(四電)

第三位 小泉 眞砂子(綾南)

敢闘賞 鍛冶田 智育(四電)

入賞 久保仁(玉藻)、藤田美貴

子(鶴風)、五嶋辰男(下笠居)、片

山辰夫(英風)、長谷川美喜子(山

本)、黒川千恵美(寿風)、黒島ひ

とみ(三観)、西岡くに子(本山)、

植松幸子(寿風)、山本郁代(玉藻)、吉中良子(寿風)、木太和代(仏生山)、玉木一浩(長尾)、佐々木政彦(牟礼) 出吟順



優勝 松川 吉伸

第三位 小泉 眞砂子

【第四部】(一般の部76歳以上)

優勝 ○玉川 壽美子(志度)

準優勝 村主 房子(寿風)

入賞 庵原修(孝風)、市原英俊

(寿風)、古川しず子(綾南陶)、田

中啓子(寿風)、宮武明美(本山)、

大川美和子(満濃)、池西義輝(下

笠居)、柏野和美(綾南陶)、三野

波留子(牟礼)、浅井能延(寿風)、

萱原美千子(綾南陶)、園田公子

(寿風)、鎌田保(信風)、藤井チ

ナコ(悠風) 出吟順



準優勝 村主 房子

優勝 玉川 壽美子

【第五部】

(短歌・俳句・新体詩の部)

優勝 鍛冶田 智育(四電)



優勝 鍛冶田 智育



左より 徳田寿風大会実行委員長 内野仁新風先生 玉川壽美子さん 松川吉伸さん 中野摂煌先生 野池菫風先生

第五十九回日本コロムビア全国
吟詠コンクール決勝大会。
全国名流大会に参加して

香川県事務局 安藤 鶴風

昨年は都市開発で東京中野サン
プラザが使用出来ず、新大阪駅近

くの「大阪メルパルクホール」で開催されました。香川県からは三名が選ばれましたが、臥風流からは、松川吉伸さん、玉川壽美子さんの二名が出場しました。

私達、吟音会員も初めての会場で、前日のリハーサルの際には各地区代表の方も大勢下見にきていました。当日はお二人とも、とても良い声で落ち着いておられたように思ったのですが…。

コンクールの後は、いつもの様に式典があり、全国の吟音会員による構成吟から始まり、四国・九州ブロックには私も出演しました。

結果発表では、香川県勢は残念でしたが節調など遜色なく、少し力が入ったのかな？と感じました。今年はずいぶん頑張って頂きたいと期待しております。

今年、全国決勝大会は水戸市を予定しています。皆様方、ぜひ多くの方の参加をお待ちしております。尚、六年八月十八日、日本コロムビア青少年大会が、四国地区高知市で行われますので、若い方達の華やかな舞台もお楽しみ下さい。

令和五年度全国吟詠 合吟コンクール男子第三位

昨年十二月十日、千葉県市川市文化会館・大ホールで開催された全国吟詠合吟コンクールで香川県合同チーム(男子)が第三位入賞を果たしました。

四国地区連企画番組(空海の道)の出演に応募くださった皆さまですが、どうせ行くならコンクールにも参加しようと言うことになり猛練習。徳田寿風会長の優しくも厳しい特訓のおかげでこの結果につながりました。

流派を超えて取り組めたことは今後の香川県吟詠界にとって大きな力になります。

合吟メンバー十五名 大島需泉(哲泉流)・浅井延風(寿風)・大西良風(鶴尾)・尾松隆風(綾南陶)・草薙賢風(寿風)・小竹勲風(玉藻)・佐々木政風(牟礼)・定國伯風(英風)・佐藤撰煌(撰楠流)・藤本樹風(清吟堂)・堀合健風(鶴尾)・宮本舟風(寿風)・村上匠鳳(観心流)・横田香風(綾南)・横山公風(綾南)

【四国地区連企画番組(空海の道)も四県八十名の共演で素晴らしい発表でした。】

香川県関係では、舟八島を過ぐに剣部七名・後夜仏法僧鳥を聞くには詩舞十四名の皆さまが出演されました。

この日の式典で、水心黎明流川原霊宗先生が吟剣詩舞大賞功労賞を受賞されました。

香川県吟剣詩舞道総連盟
事務局長 松原 綾風

東讃地区だより

通信員 定國 伯風

コロナ禍が継続する中ではありましたが、国分寺ホールにおいて三大会が無事に開催されました。

●東讃連盟吟詠コンクール大会

二月十九日 四年度の締めくくりとなる吟詠コンクール大会が、百二十五名が参加して開催されました。各部門の成績は次のとおりです。

【第一部】(49歳まで)

優勝 浦 麻紀(寿風)
準優勝 橋本 真希(孝風)



優勝 浦 麻紀
準優勝 橋本 真希

【第二部】(50歳～69歳まで)

優勝 松川 吉伸(四電)
準優勝 木太 和代(仏生山)
第三位 直井 郁子(沈風)
入賞 小泉真砂子(綾南)、立川正史(寿風)
出吟順



準優勝 木太 和代
優勝 松川 吉伸
第三位 直井 郁子

【第三部】(70歳～79歳まで)

優勝 山本 貴子(満濃)
第三位 廣瀬 恵子(英風)
入賞 浜崎清美(英風)、山地英文(寿風)、森博子(英風)、塩田将展(英風)、定國浩(英風)、宮本修(寿風)、細川節子(志度)、大野利勝(寿風)、久保仁(玉藻)、植松幸子(寿風)、古賀良隆(英風)、小田孝子(寿風)、堀田千賀子(満濃)、三好美也子(簡保)
出吟順



優勝 山本 貴子
第三位 廣瀬 恵子

【第四部】(80歳以上)

優勝 堀井 勲(津田)
準優勝 河合 博一(寿風)
第三位 古川 しず子(綾南陶)
入賞 小竹勲(玉藻)、庵原修(孝風)、竹本富子(簡保)、須田邦夫(四電)、久保守男(四電)、堀合正

健(鶴尾)、大路大幸(寿風)

出吟順



準優勝 河合 博一
優勝 堀井 勲
第三位 古川 しず子

●香川県吟詠選手権東讃予選大会

昨年六月十八日会員百九名が参加して、七月二十二日の県大会を目指して競吟が展開され、出吟する入賞者が決定しました。

【第一部】(79歳以下)

優勝 佐々木 政彦(牟礼)
準優勝 浦 麻紀(寿風)
第三位 池田 弘隆(四電)
入賞 小田孝子(寿風)、坂東恵美子(英風)、直井郁子(洗風)、溝川鈴子(孝風)、橋本真希(孝風)、古賀良隆(英風)、清川芳助

(寿風)、細川節子(志度)、玉木一浩(長尾)、鍛冶田智育(四電)、平尾明美(簡保)、玉川壽美子(志度)、松川吉伸(四電)、久保仁(玉藻)、藤本由紀子(寿風)、森啓子(綾南)、廣瀬恵子(英風)、宮本修(寿風)、小泉眞砂子(綾南)、浜崎清美(英風)、上原孝子(仏生山)、木太和代(仏生山)、今瀧幸子(満濃)、定國浩(英風)、立川正史(寿風)、佐藤明(鶴尾)、森博子(英風)、大野利勝(寿風)、小河聖悠風、堀田千賀子(満濃)、横田聡(綾南)、片山辰夫(英風)

出吟順



準優勝 浦 麻紀
優勝 佐々木 政彦
第三位 池田 弘隆

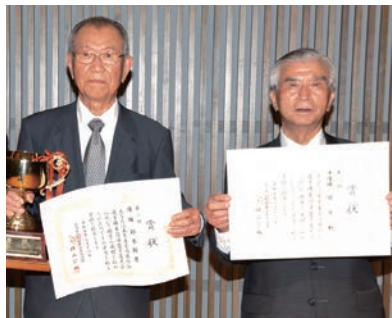
【第二部】(80歳以上)

優勝 鈴木 幹男(寿風)

準優勝 堀井 勲(津田)

入賞 柏野和美(綾南陶)、藤井チナコ(悠風)、溝川將文(孝風)、米澤都子(石清尾)、藤川美代子(悠風)、堀合正健(鶴尾)、村房子(寿風)、古川しず子(綾南陶)、園田公子(寿風)、堀川武夫(英風)、河合博一(寿風)、大西良昌(鶴尾)

出吟順



準優勝 堀井 勲
優勝 鈴木 幹男

●東讃連盟寿大学吟剣詩舞道大会

昨年八月二十六日 猛暑の中、会員百十五名が参加して、吟詠に、剣詩舞に熱演が展開されました。剣詩舞では子供たちの活躍がめざましく、盛大な拍手が送られました。吟詠の成績は次のとおり

です。

【吟詠第一部】(79歳以下)

優勝 東原 恵(寿風)

準優勝 木太 和代(仏生山)

第三位 小泉 眞砂子(綾南)

入賞 山本郁代(玉藻)、宮本修(寿風)、五嶋辰男(下笠居)、定國浩(英風)、横田聡(綾南)、細川節子(志度)、溝川鈴子(孝風)、森博子(英風)、山地英文(寿風)、浜崎清美(英風)、廣瀬恵子(英風)、國井陽子(鶴尾)、萱原美千子(綾南陶)

出吟順



第三位 小泉 眞砂子
優勝 東原 恵
準優勝 木太 和代

【吟詠第二部】(80歳以上)

優勝 堀井 勲(津田)

準優勝 藤川 美代子(悠風)
 第三位 柏野 和美(綾南陶)
 入賞 藤井チナコ(悠風)、塩谷
 捷代(寿風)、古川しず子(綾南
 陶) 出吟順



準優勝 藤川 美代子
 優勝 堀井 勲
 第三位 柏野 和美

中讃地区だより

通信員 飯田 將風

●第十九回 中讃班郊外研修会

四月二日 坂出市勤労福祉セン

ターにて開催。

今年坂出地区が当番であった

が、会員の減少と高齢化で実施が危ぶまれたが、丸亀・宇多津など周辺「会」との合同により実施することが出来た。

受審者は一級から師範までの十名として指導者吟詠(師範から総名)三十六名、子供を含む剣舞七名の合計五十三名であった。

受審者には例年どおり、アドバイザーの先生方から発声・姿勢・マイクの使い方など適切な指導を受け、本番への自信を深め大変有意義な研修会であった。

●第十回

中讃連盟吟士権者決定大会・

一般交流吟剣詩舞道大会

五月七日 坂出市勤労福祉センターにて開催。

当日は生憎の雨であったが、令和五年度最初の大会に吟詠・剣詩舞合わせて九十三組の参加があり、久しぶりの再会に会話も弾み、またコンクールでは三十二組が熱戦を繰り広げ各部門の入賞者が決定した。

【第二部】(70歳〜80歳まで)

入賞 谷本 美代子(飯山)

●令和五年度

香川県吟詠選手権中讃地区

予選吟詠大会

六月十一日 坂出市勤労福祉センターにて開催。

審査吟詠第一部(七十九歳以下)二十四名・第二部(八十歳以上)の十一名、合計三十五名が参加し、熱戦が展開された。

その結果、二十八名の入賞者が七月二十二日三豊市で開催される香川県吟詠剣詩舞選手権大会への出場が決まった。

【第一部】(79歳以下)

入賞 荒井 進(昇風)、御厨敏江(春日) 出吟順

●第十三回 中讃連盟

吟詠詩舞道祭

八月二十三日 坂出市民ホールにて開催。当日は、早朝から生憎の悪天候で開催が危ぶまれたが、予定通り始まり安堵した一日でした。

プログラムは、絶句・律詩・吟詠歌謡そして剣詩舞と通常どおり「徳田寿風会長と大森英風先生との交流の舞」・会員による「企画吟詠(日本の心愛を詠う)」・幼少年の「合舞」など工夫を凝らし、最後は、吟士先生の構成吟詠で

「祭」を縮めていただいた。

また、恒例の「永年功労表彰」が行われ、本年は八名中、中山京風(溪風)・鶴岡朗風(溪風)・高木捷風(春日)の三名が臥風流から表彰された。

●第三十五回 中讃連盟

律詩吟剣詩舞道大会

十一月二十六日 坂出市勤労福祉センターにて開催された。中讃連盟の目玉である律詩大会も、会員の減少、高齢化に伴い縮小傾向にある。しかし、律詩(独吟・連吟)を主体に絶句(独吟・合吟)、吟詠歌謡そして剣詩舞と多様な演目となったが、会場は大いに盛り上がった。

最後に「弘法大師御生誕1250記念」と銘打って、参加者全員で『後夜仏法僧鳥を聞く』を大合吟し、感動の余韻を残しながら令和五年度、中讃連盟の最終行事を閉会した。



佐々木 新風
 (曲江)
 (坂出溪風会)



谷本 桃風 (容奇) (飯山吟詠会)

西讃地区だより

通信員 安藤 鶴風

四月一日 西讃連盟総会、三豊改善センターにて開催。

四月二十三日 西讃連盟優賞決定大会、三豊交流センターにて開催。受審者十名、一般出場者五十二名。優賞は毎年受審者が減少、今回を最後とする。

五月二十六日 各流派代表者会議、三豊改善センターにて開催。来年度理事長改選の件、優賞大会に替る大会の件、別の大会(審査有り)を行う。

六月十日 香川県総連西讃予選大会、三豊交流センターにて開催。八十歳以上四名、七十九歳以下二十名、入賞、県大会出場。

八月四日 西讃連盟役員会、三豊改善センターにて開催。今迄西讃

は各流派間の話し合いはほとんど無く、各当審会のみで決めていたが、廃止する。特に今回の様に新しい大会を起こす時は何度も話し合う事が必要。

八月三十日 西讃連盟役員会、三豊改善センターにて開催。新大会への構想の話し合い。意見全くばらばらで進まない。難しい事です。

十月十五日 香川県秋季大会、善通寺市民会館で開催。合吟コンクールに晴友A・B女子二チーム出場、入賞Bチーム(野田・安藤・宮武・西岡・松本)あと選抜、優秀吟士として参加。

十一月五日 西讃地区・豊中町他、各地区文化祭に参加。

十一月二十三日 西讃連盟吟剣詩舞道祭、三豊交流センターにて開催。審査の無い大会なので、独吟、歌謡吟等、剣詩舞の方も皆様楽しんで声を出しています。また、一番の楽しみは恒例となりました徳田寿風会長、大森英風先生お二人の舞台です。本年もお二人の先生方には、ご遠方快くお出て下さいました。

大森英風先生は構成吟「春夏秋冬の好きな吟」等、楽しいト

クを交え、徳田寿風会長には構成吟「菅原道真」、息をするのも忘れ引きこまれてしまいました。先生方には毎年素晴らしい舞台を堪能させて頂いております。

唯、西讃地区は小さな流派が多く、なかなか流派の節調から脱皮出来ていないのが現状です。もつと財団に目や耳を向けてもいいのでは？

倉敷地区だより

通信員 小仙 聰風

二月十九日 児島公民館祭を各公民館を使用して一年間の成果を発表するお祭りです。鷺山吟詠会は児島会場、タンポポ会場と二つの吟詠研修会をしています。

ジーンズホールで三十分の時間を戴き和歌、絶句、律詩、歌謡吟と熱演し観客の皆さんより大変喜ばれました。

三月二十六日 岡山県吟士権大会が児島ジーンズホールにて行われ鷺山の片山、森、杉村の三氏が入賞、六月四日の決戦に向けて一層

精進するよう稽古をしています。
四月二十三日 令和五年度の総会を児島公民館の後援により市民交流センターの視聴覚室を使用して令和四年度の報告、五年度の企画を審議、会員の了解の下、吟詠発表に移り、和歌、歌謡吟、吟舞、師範吟詠等、全三十四題を熱演し会員皆さんの今年度の健康と、益々の漢詩の研究に、吟詠を深めるよう話し合いました。



吟詠 小仙 聰風

詩舞 安田 美風

五月二十八日 (財)全国吟詠コンクール岡山大会が児島市民交流センター内ジーンズホールにて行われ、鷺山吟詠会の杉村幸風、二部で戸田麗風、森庚風が三部で入賞し、七月三十日に中国地区大会へ向けて一層の練習を望みます。

六月四日 岡山県吟士権大会が児島市民交流センターにて、一部杉村さよ子、シニアで片山清人さんが入賞し、杉村さんは九月十七日



鷺山吟詠会総会出席者

に開催される愛国詩吟総連盟の吟士権者決定詩吟大会(尼崎市総合文化センター)に行かれます。

七月二十三日 日本伝統文化吟友会のコングレ中国地区大会が岡山国際交流センターで第一会場、第二会場で開催、鷺山吟詠会より小仙、片山、土岐、森、戸田、の五名の役員手伝いを、吟詠で森庚風、杉村幸風、戸田麗風が入賞、短歌の部で片山清風が準優勝して全国大会へ進みました。

八月二十日 日本吟剣詩舞振興会の吟詠特別研修会が中国地区連絡協議会のもと岡山県浅口市の金光公民館にて鳥取県十五名、島根県六十名、山口県六十四名、広島県百二十七名、岡山県二百二十九名、合計五百五名、会場をオーバーする盛況で財団副会長である徳田寿風先生の解説「詩吟の音階と音の性格と感情について」と吟詠コンクール審査規定の解説を一時間以上説明され直ぐに構成吟「西郷隆盛と西南戦争」を先生の美声と声量で吟詠され、会場の全聴講生は感動と見事に暫くしんとして拍手も出来ないような状況でした。

盛大に開催することができました。

香川県内吟詠関係者、四国地区連吟詠関係者の皆様にまず心から御礼申し上げます。

令和五年三月五日快晴。

午後一時レクザムホール大ホールに満員のお客様をお迎えして、構成吟詠『源平盛衰記』いざ源平の世界へ々の幕が上がりました。

コロナ禍のため二年の延期を余儀なくされ、その間、寿風吟詠会員の減少・高齢化。募る不安を打ち消しながら、開催を信じて一致団結して取り組んでまいりました。

万雷の拍手に感謝と安堵の気持ちで胸が熱くなりました。

ご来賓の池田豊人県知事様、大西秀人高松市長様、財団会長長崎崎富様、香川県総連会長萱



徳田寿風会長

本如泉様、臥風流吟詠会本部名誉会長宮本浩風様には、ご多忙の中ご来場の上、お祝辞を賜りました。

今回は、50周年記念開催ということで、『ふるさと賛歌』と題し、四国四県から多くの皆さまのご協力・ご参加をいただきました。「ありがとうコンサート」ご出演のために練習を重ねられ、また当日は早朝よりお集まりいただきました。

この演目があつて、四国四県の吟剣詩舞道総連盟、また香川県三連盟の連携や各会の交流が深まったと言うお声を聞くことができました。

ご来場者が全国各地に及ぶことから寿風先生への信頼と尊敬の念が感じられます。

徳田寿風先生は吟詠家として、常に、より完成度の高い吟詠を目指し、その探求心がますます熟練された吟詠となつて、多くの人々に感動を与え、強いては伝統芸能吟剣詩舞道の普及発展に貢献しております。今後とも臥風流吟詠会の皆さまのご支援をよろしくお願いたします。

最後になりましたが、この度は

吟歴50周年 徳田寿風
ありがとうコンサートV
 ～春よ来い～

臥風流の皆さまには本当にお世話様になりました。ありがとうございます。寿風吟詠会 松原綾風



出演者の皆様でのフィナーレ

臥風流幼年部 「ワンコイン子供詩吟塾」開講

幼年部部長 大森 英風

令和四年十二月四日、臥風流幼年部による待望の「子供詩吟塾」が開講しました。

臥風流吟詠会本部、徳田寿風会長の「日本の伝統芸道である詩吟の継承に努めて下さいね」と子供たちに向けたやさしいお祝いの言葉の後、私、塾長大森英風による講義。出席者は五歳から高校一年生、子供十一名、計二十二名。なごやかな雰囲気の中、腹式呼吸、滑舌等について楽しく学習し、あつという間の二時間でした。

臥風流幼年部は、平成二十年五月五日、地元開催の財団名流吟剣詩道大会から活動を始め、今年で十六年目。毎年(コロナ禍を除く)臥風流吟剣詩道大会で構成吟の発表を続けてきました。(毎年四〜六回は練習)平成二十九年には財団主催全国吟剣詩舞道大会、俗にいう武道館大会に七名が出場し「富士山」を吟じ詩舞の子供達と共演

しました。

しかし長い歴史の中で、塾という形で詩吟を習う、基礎を学ぶというやり方。そして初めての有料化。今回の講座は全六回予定。成果は乞うご期待!また令和七年香川県開催の全国高校総合文化祭を見据えて活動の強化体制に入りました。幼年部、高校生部門、共にあたたかい目で見守って応援よろしく願います。



令和6年1月3日イオンモール綾川 高校総文化祭での臥風流メンバー

新春錬成大会 盛大に開催!!

香川県吟剣詩舞道総連盟
事務局 草薙賢三

本年、新春早々の一月六日(土)高松国分寺ホールにおいて県総連主催の【令和五年度新春錬成大会】が三百二十余名の参加者のもと、盛大に開催されました。

第一部では、この度(公財)日本吟剣詩舞振興会からの「日本吟剣詩舞大賞・功労賞」を受賞された水心黎明流宗家「川原霊宗」先生の祝賀セレモニーがあり、祝賀吟詠と詩舞が華を添えました。



大森英風先生より
川原霊宗先生にお花を進呈

次に今年度の「全国吟詠コンクール決勝大会」の入賞者・石川雅健氏、草薙賢三氏両名による吟詠披露と昨年十二月に千葉県市川市で開催された「第五十三回全国吟詠詩舞道大会」での「全国吟詠合吟コンクール」で見事「第三位」に入賞した合吟チームが「涼州詞」を高らかに吟じました。更に同大会において発表した「四国地区連絡協議会」の特別企画吟詠詩舞『空海の道』の中から、香川県が担当した「舟八島を過ぐ」「後夜仏法僧鳥を聞く」の二題の合吟・剣詩舞チームのコラボによる再演は観客を圧倒したと思います。そして第一部のメの清吟堂吟友会有志による「お囃子・讃州狸ばやし」は会場を和ませてくれました。



全国吟詠コンクール
決勝大会優勝
草薙賢三さん



全国吟詠合吟コンクール 第3位 当日発表シーン

第二部は徳田寿風、大森英風両先生による「令和六年度全国吟詠コンクール指定吟題」十題の解説

と吟詠の講義がありました。これからの練習や各種大会で発表を予定されている方々には大変有意義な「錬成大会」であったことと思います。

第三部の両先生による吟詠競演では会場の盛り上がりが高くなり、ついでいき、最後は会場全員で「祝い歌」の大合唱で締めくくりました。



「祝い歌」の大合唱

今大会は大変バラエティーに富んだ構成となりました。参加者の皆様方にはどうお感じになられたでしょうか？

今大会の運営全般及び出演等において、主に臥風流会員各位のご協力を賜り、成功裡に終えることが出来ました。厚く御礼申し上げます。

会員異動のお知らせ

(敬称略)

(本部役員名簿令和4年7月の各員を示す)

〔脱会〕

7頁 No.19 瑞鳳会

代表者 奈良 正雄(正風)

四月三十日付

10頁 No.62 青瓦吟詠会

代表者 佐藤 利男(利風)

三月三十一日付

11頁 No.62 妙香吟詠会

代表者 三木 節子(節風)

二月二十日付

〔本部役員コンクール(本部理事の辞任)〕

1頁 池田 恵美子(淑風・英風)

二月二十日付 休会による

〔本部役員研修(本部理事の辞任)〕

2頁 岸下 秋子(煌風・仏生山)

三月三十一日付 体調不良

〔理事の辞任〕

3頁 妙香吟詠会 三木 節風

二月二十日付 脱会による

3頁 青瓦吟詠会 梶川 賢風

三月三十一日付 脱会による

3頁 瑞鳳会 奈良 正風

四月三十日付 会の移動

〔大師範の退会〕

26頁 赤澤 暢俊(暢風・ちきり)

四月十日付 一身上による

26頁 三木 節子(節風・妙香)

二月二十日付 脱会による

27頁 井原 ハナ子(草風・寒川)

四年十二月二十日付

死亡による

〔大師範の休会〕

25頁 中山 敏男(俊風・四電)

四月十日付 一身上による

26頁 岡田 愛子(愛風・玉藻)

三月三十一日付

一身上による

〔師範の復帰〕

29頁 山本 郁代(萌風・玉藻)

四月一日付

連絡先 〒七六二一〇〇〇四
坂出市昭和町1-5-14

TEL〇九〇三七八六一四三三

〔師範の退会〕

28頁 鈴木 總吾(總風・悠風)

三月三十一日付

一身上による

28頁 十河 進進風・三木町

三月三十一日付 体調不良

29頁 田阪 保夫(賢風・飯山)

二月二十日付 体調不良

29頁 後藤 高子(高風・妙香)

二月二十日付 脱会による

29頁 松本 弘子(弘風・相愛)

一月二十日付 体調不良

31頁 佐藤 利男(利風・青瓦)

三月三十一日付 体調不良

33頁 古澤 恵祥(恵風・青瓦)

三月三十一日付 体調不良

34頁 西山 美恵子(美風・昇風)

四月二十日付 体調不良

35頁 片山 スマ子(澄風・信風)

七月十七日付 体調不良

35頁 梶川 賢(賢風・青瓦)

三月三十一日付

一身上の都合

39頁 下川 アサエ(朝風・三観)

六月三十日付 体調不良

40頁 香川 順(順風・寿風)

三月九日付 死亡による

〔師範の休会〕

34頁 岸下 秋子(煌風・仏生山)

三月三十一日付 体調不良

36頁 河野 ひかり(光風・英風)

七月十四日付

一身上の都合

36頁 池田 恵美子(淑風・英風)

二月二十日付

一身上の都合

40頁 渡部 栄子(栄風・簡保)

五月三十一日付

一身上の都合

〔代表者の変更〕

6頁 No.14 仏生山吟詠会

岸下 煌風↓池田 武風

12頁 No.67 英風吟詠会

田中 光風↓坂東 恵風

〔連絡先の変更〕

6頁 No.14 仏生山吟詠会

岸下 秋子↓木太 和代

26頁 奈良 正雄(正風)

瑞鳳会↓三木町吟詠会

四月二十日付

26頁 米澤 都子(都風)

草風吟詠会↓石清尾吟詠会

五月二十日付

〔指導者の変更〕

11頁 No.56 常盤吟詠会

中山 俊風↓寺尾 陽風

〔住所・電話番号の変更〕

19頁 相談役 西田 緑風

22頁 総範 西田 道

(緑風・本山)

〒七六八一〇〇四〇

観音寺市柞田町甲1208

カサ・ミラ104号

TEL〇九〇八六九六一三八八

No.86 三木町吟詠会

香西 広風

16頁 常任理事 香西 広風

22頁 総範 香西 廣信(広風)

TEL〇八七七八九九一〇三二

←

TEL〇九〇四五〇七四二二九

8頁 No.32 相愛吟詠会

大平 葉風

23頁 大平 一葉

TEL〇八七七八八六一九八一八

←

TEL〇八七七八〇四七二二五

(本部役員名簿令和5年7月の各頁を示す)

〔脱会〕

5頁 No.3 高松吟和会

代表者 木村 詩風

十月十五日付

8頁 No.33 母神吟和会

代表者 石川 司風

七月三十一日付

13頁 No.77 草風吟詠会

代表者 久保 草風

八月二日付

〔常任理事の辞任〕

1頁 コンクール

鷺山吟詠会 大西 讓風

十月二十八日付 退会による

〔理事の辞任〕

3頁 高松吟和会 木村 詩風

十月十五日付 退会による

3頁 母神吟和会 石川 司風

七月三十一日付 脱会による

〔総範の退会〕

21頁 吉岡 進(簫風・綾南)

七月三十一日付 死亡による

24頁 大西 讓(讓風・鷺山)

十月二十八日付 死亡による

〔大師範の退会〕

25頁 木村 忠志(詩風・吟和)

十月十五日付 死亡による

25頁 貴志 早苗(早風・吟和)

十月十五日付 脱会による

26頁 石川 司朗(司風・母神)

七月三十一日付 体調不良

27頁 上枝 法子(法風・吟和)

十月十五日付 脱会による

〔相談役の辞任〕

2頁 久保 草風(四電)

20頁 久保 草風(四電)

八月二日付 脱会による

〔総範の休会〕

22頁 久保 早苗(草風・四電)

八月二日付 体調不良による

〔審査委員の辞任〕

4頁 No.9 鷺山吟詠会

大西 讓風

十月二十八日付 死亡による

〔指導者の変更〕

5頁 No.2 四国電力株吟詠会

久保 草風↓松川 天風

〔師範(所属の変更)〕

33頁 須田 弘子(弘風)

草風吟詠会↓洗風吟詠会

八月二日付

〔代表者の変更〕

7頁 No.21 綾南吟詠会

吉岡 簫風↓井上 臥良

〔師範の退会〕

29頁 乗島 輝夫(輝風・白鳥)

七月三十一日付

32頁 菅 芳輝(芳風・四電)

七月十七日付

33頁 大藪 槻雄(雄風・吟和)

自己都合による

10月十五日付 脱会による

33頁 入倉 玲子(玲風・白鳥)

九月十二日付 体調不良

〔準師範の退会〕

42頁 大木 喜己男(臥悦・山本)

四年十月二十六日付

死亡による(申告漏れの為)

〔連絡先の変更〕

7頁 No.23 坂出昇風会

鎌田 義行↓大野 忠由

連絡先 〒七六二一〇〇一二

坂出市林田町3583-1

TEL〇八七七-四七-〇六九一

12頁 No.64 ちきり吟詠会

代表者 伊丹 敏風

連絡先 〒七六〇一〇〇七五

高松市楠上町2-1-28

グレイスペース高松

603号室

TEL〇九〇-四九七九-二六三二

〔住所の変更〕

38頁 飯村 明子(明風・英風)

連絡先 〒七六〇一〇〇七八

高松市今里町

2丁目14-3

会員数の変更は省略します。

編集後記

今年の干支は、甲辰(きのえたつ)です。甲辰は昨年まで努力してきたことが実を結んで成就する年と言われています。吟詠の世界も突然に訳も分からない感染症(コロナ)が蔓延し、練習、コンクールもままならない状態が続いていましたが、やっと昨年辺りから通常に戻ってきました。日本人として大活躍している藤井聡大棋士や、野球の大谷翔平選手等、人一倍努力してテレビに映らない日が無いほど成功した有名人でさえ、必ず次の目標があり、満足していません。

臥風流でも全国大会での優勝者が続いています。大活躍しています。会員の皆様も辰年で目標が成就しても次の目標に向かって頑張りましょう。

編集部部长 玉木 浩風

皆様の情報・ニュースをお待ちしております。



龍 吟ずれば 雲起こる! 鍛冶田洗風 制作

- 鎌田 鵬風
浅井 延風
片山 辰風
田辺 磊風
松村 清風